

国連の掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に観光を通じて貢献していく――

和歌山大学国際観光学研究センター(CTR)は、健全で持続可能な社会の発展に寄与するというミッションの下、観光学研究を推進しています。2018年度は「観光とSDGs」を年間テーマとして、さまざまなセミナーを開催しています。



人新世における 自然遺産とエコツーリズム： 現場の実態を踏まえて議論する

SDGs # 15 : 陸の豊かさを守ろう



「人新世」とは、地球表面における様々な自然的プロセスや生態系は過去100年の間に人為的改変によって大きく変化した、という概念です。このような地球規模の変化期においては、自然遺産を単に「豊かな景観」や「高価値の観光資源」として評価することでは不十分で、環境変化や観光資源の実態を総合的に理解することが極めて重要です。また、自然景観の復元のためにも役割が大きいと思われるエコツーリズムは、現場の実態に基づいた実践が求められます。当セミナーでは、発表者が実施した北アルプス及び知床半島の研究プロジェクトの成果を踏まえ、自然遺産地域におけるエコツーリズムのあり方について検証し、SDGsなどとのつながりについて議論します。

* 事前の申込不要、参加無料。

2019年 **1月11日(金)**
14:50~16:20

会場 **和歌山大学**
国際観光学研究センター会議室
(西1号館 107会議室) [和歌山市栄谷930]

講師
チャクラバルティー・アビック

国際観光学研究センター専任研究員、講師



お問い合わせ先

和歌山大学 国際観光学研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷930 西1号館(経済学部南棟)1階

TEL : 073-457-7025 Email : info-ctr@center.wakayama-u.ac.jp

HP : <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>